

平成 29 年度
せきやど図書館及び関宿コミュニティ会館指定管理者管理運営状況調査
 担当課 興風図書館

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	平等利用確保への取組	B	B	
	児童、障がい者、高齢者への配慮	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	施設の利用促進に向けた取組	B	B	
	地域の特性を活かした取組	B	B	
	児童・青少年層への読書普及のための取組	B	B	
	レファレンスサービス充実のための取組	B	B	
	サービス向上のための取組	B	B	
	自主事業の取組	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	個人情報保護のための取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	施設の安全管理、緊急時の危機管理のための取組	B	B	
	利用者の要望及び苦情への対応の取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	現金の取扱い等の適切な経理処理についての取組	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	管理経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際し、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	
	職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	人材育成の取組	B	B	
<p>総合所見</p> <p>指定期間の4年目となる平成29年度は、各種の利用促進に向けた取組や、児童、青少年層への読書普及のための取組を通じて利用促進に努めましたが、図書館の利用状況は平成29年12月末時点の前年同月比で貸出冊数が5,381冊、約6.3%減少しています。</p> <p>関宿地域の人口は、平成30年1月1日時点で比較すると、1年前より363人減、この3年間では1,261人減少し、ベースとなるエリア人口の減少傾向が続いていることに加え、インターネットや携帯端末、電子書籍等の普及による情報取得手段（メディア利用形態）の多様化の影響により、貸出冊数増減のベースとなる個人利用登録者数が、平成29年12月末時点の前年同月比で-245人（約3.8%減）と減少していることが原因として考えられます。</p> <p>エリア人口が減少している状況下で、利用率を向上させるのは難しいところもありますが、各種の読</p>				

書普及の取組を通じて今後一層の利用促進に努めてもらいたい。

また、コミュニティ会館の利用状況は、平成 29 年 12 月末の時点において、利用件数が前年同月比で 108 件（約 11.9%）の減、利用人数も 2,307 人（約 17.5%）の減少となっており、図書館と同様にエリア人口が減少している影響を受けていることに加え、本年 10 月から工事が始まったいちいのホール空調設備改修の影響を多少受けたことが利用の減少の一因と考えられます。

なお、いちいのホール空調設備改修工事の対応については、本年 9 月より原則として毎週 1 回開催される市担当者及び業者の定例会にせきやど図書館長が毎回出席し、工事の進捗状況に応じて図書館やコミュニティ会館の利用者に極力影響のないよう、必要に応じて各担当と調整を図っております。

同工事は次年度の 4 月から 5 月にかけてコミュニティ会館の各部屋ごとに順次部空調設備改修工事が予定されており、部分的に使用できない部屋が生じるため、その影響による利用者数の減少が見込まれますが、それを補えるよう引き続き更なる利用促進に努めてもらいたい。

各評価項目については、すべての評価項目について B と自己評価しています。

利用促進に向けた取組として、各種サインの掲示や図書館掲示物の工夫、生涯学習情報の発信、リサイクル事業の実施、特集展示の実施、しかけ絵本・布絵本展の開催、読書週間中の図書館イベント（「本のまくら」、「本の福袋」、「まわそうガチャマシーン」）の実施、せきやどシネマフェスタの実施、図書館広報紙の発行、大人の図書館体験講座「音読で脳をトレーニングしよう」の開催などの各種事業が実施されており、3 月には「せきやど出前寄席」の開催が予定されています。

地域の特性を活かした取組としては、地域と連携した事業として関宿歴史講座「鯛で栄えた関宿の河岸」の開催が 1 月 27 日に予定されています。

また、児童・青少年層への読書普及のための取組として、書架の工夫や児童コーナーの設置、YA（ヤングアダルト）図書展示、YA サポーターの育成、ブックスタートの実施、図書館学校の開催、保育園児の図書館学校の開催、おはなし会スペシャルの開催、「ぬいぐるみおとまり会」の開催、季節に応じたイベント（「図書館子どもまつり」、「七夕飾り」、「夏休み子ども読書スタンプラリー」、「こわいおはなし会」、「せきやど図書館まつり」、体験講座「夏休み科学あそび」、「科学教室」、「親子工作」、「クリスマス工作」、「図書館を使った調べる学習コンクール優秀作品レプリカの展示」、「調べる学習支援講座」、「図書館を使った調べる学習コンクール（野田市版）表彰式」）の実施、利用者の年代に応じた構成展示の実施等、事業計画のとおり様々な事業が実施されており、3 月には「育児支援講座」の開催が予定されています。

レファレンスサービスの充実のための取組や、サービス向上のための取組、個人情報保護のための取組、施設の安全管理・緊急時の危機管理のための取組、利用者の要望及び苦情への対応の取組、現金等の取り扱い等の適切な経理処理についての取組、指定管理に係る経費縮減のための取組、地元住民の雇用及び地元業者への配慮なども業務計画書のとおり適切に実施され、昨年度、自己評価が C であった自主事業についても、いちいのホール 1 階フロアに有料の複写機を設置して利用者の利便性向上が図られており、未実施の事業や代替で実施した事業もないことから、担当課としてすべての評価項目について B と評価いたします。

なお、コミュニティ会館小ホールの利用者へのサポートとして、地域の文化団体である関宿文化連盟が主催する「芸術祭」や、関宿中央公民館の利用者が参加する「関宿中央公民館まつり」の開催の際には、舞台発表が滞りなく進行するように、小ホールに付帯する設備機器利用のサポートを行うなど、仕様書や提案事業にない取組として、今年度においても地域の文化的なイベントで裏方的に貢献し地域文化向上に寄与していることは評価できます。

人員配置、研修、施設の保守点検については、業務計画書のとおり実施されており、仕様書の水準を満たしていると認めます。

経費の収支見込は、収入が支出をやや上回っており、534 円の余剰金が生じる見込みですが、仕様書の要求水準を満たす業務が適正に行われていることから、収支状況は妥当なものと評価いたします。

また、指定管理者である株式会社図書館流通センターは、損益計算書によると営業利益、経常利益、純利益ともに黒字となっており、経営基盤は安定しているものと評価いたします。

総合所見として、図書館及びコミュニティ会館の利用が減少傾向にあるものの、利用促進に向けた取組が数多く行われており、全般的にはおおむね適正に管理運営が行われていると評価いたします。